

事例紹介

鹿児島 南さつま

Kagoshima Minamisatsuma

南さつま市長
本坊 輝雄



昭和30年10月 加世田津貫の果樹農家に生まれる
 昭和49年 3 月 県立加世田農業高等学校卒業
 旧加世田市農業協同組合に約3年勤務
 昭和57年 7 月 加世田市議会議員初当選(3期連続当選) 26歳
 平成 3 年 4 月 鹿児島県議会議員初当選(5期連続当選) 35歳
 平成21年11月 南さつま市長に初当選(4期連続当選) 54歳
 鹿児島県市長会会長



南さつま市長 本坊 輝雄

鹿児島県 南さつま市

(平成17年 1市4町合併)

南さつま市は薩摩半島の西海岸に位置し、
南西部の海岸線は変化に富んだリアス海岸、
北西部は日本三大砂丘の一つ「吹上浜」を有
しています。

- 人口：32,425人（令和4年10月現在）
- 総面積：283km²（概ね58%が森林）
- 年間平均気温：18.5℃
- 年間降雨量：2,619mm（温暖多雨な気候）

地域特性: *Regional characteristics*



代表的な農作物「かごしまブランド産品」



本市最大のイベント「吹上浜砂の祭典」



郷中教育の基本「日新公いろは歌」



鑑真大和上



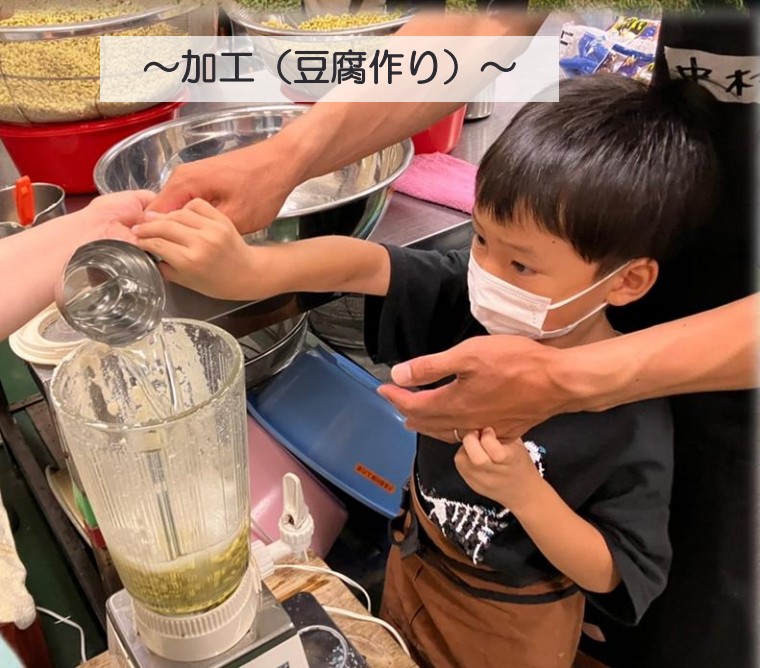
自然農法体験学校

『ありのまま分校』の歩み



開催	平成27年度開設
委託先	MOA自然農法文化事業団
委託料	年間562,100円
参加者	市内外の自然農法に興味がある方
卒業生	約300名(8年間)
年間授業	植付・収穫・販売・加工

～加工（豆腐作り）～



～収穫～



～販売～



VIDEO



→ オーガニックビレッジの取組の基礎へ

みどりの食料システム戦略の取組

生産・加工・流通・消費について様々な取り組みを行っているが、今回はポイントを絞り紹介する。

01

研修圃場

02

給食

03

親子

01

有機研修圃場の整備



Point

- 県立加世田常潤高等学校の圃場を6月から借用
- 農家と協力して研修圃場として整備
- 学校と市の有機に関する協定締結は県内初

常潤高校との様々な連携

1

地元農家への援農の実施



2

授業でアイガモロボットの勉強会を実施



3

有機農家が常潤生インターシップ



4

研修圃場での勉強会



給食に有機農産物使用



Point

- 給食センターにて栄養教諭や農家を交えて協議
- 常潤高校で収穫した「じゃがいも」を納入
- 12月8日に農家による食育授業開催

03

親子料理教室の開催



Point

- 私立鳳凰高校の看護師を目指す生徒が農業を体験(農医連携)
- 収穫や料理に参加する親子を生徒がサポート
- 未来を担う世代に自然農法・有機野菜を周知

その他の取り組み



静岡県自然農法大学の受入

海外からの研修希望者Web対応



1

2



県立農業大学校の加工研修参加

農家との加工試作

3

4



自然農法
体験学校

ありのまま分校

南さつま市・加世田常潤高校
MOA自然農法文化事業団